

# 希望要望項目一覧

平成28年度9月補正分

要望項目	左に対する対応方針等
<p>■ 鳥取県中部の生き残りのために北条道路と北条湯原道路の早期完成を</p> <p>高速道路ネットワークの形成は、鳥取県が地域間競争を生き残る最低限の条件であることは言うまでもありません。</p> <p>県内には、高規格幹線道路として東西に山陰自動車道、南北に鳥取自動車道、米子自動車道が整備されており、人やモノの流れを円滑にするのにその役割を大きく果たしています。特に鳥取自動車道、米子自動車道により、東部、西部は観光や物流などで多くの恩恵を受けています。</p> <p>いっぽうで、中部の高速道路事情は完全に遅れています。東西と繋がる山陰自動車道は、北条道路がまだ完成しておらず、東部、西部から中部へのアクセスはあまりスムーズなものといえません。</p> <p>また、岡山県側からの中部への入り口となる北条湯原道路は、北条倉吉道路、倉吉道路の一部区間、犬狹峠道路だけが供用中であり、県外からのアクセスがあまり便利ではない状況にあります。特に、岡山県側には現道活用区間もあるなど、高速移動が可能な道路としては十分な計画とは言えません。</p> <p>このままでは中部は完全に取り残されるのではないかと強く危惧しています。</p> <p>鳥取県中部の発展にとって、高速道路ネットワークと繋がることは不可欠な要件であります。</p> <p>また、鳥取県の観光の振興においても、県外から鳥取県中部に入り、東部または西部に抜ける広域観光ルートを形成することは非常に重要な課題であると考えます。</p> <p>これまでも高速道路網の整備について県が積極的に取り組んでこられたことは承知しておりますが、中部地区の生き残りを左右するといっても過言ではない山陰自動車道の早期完成と北条湯原道路の自動車専用道路として全線開通</p>	<p>左に対する対応方針等</p> <p>北条道路については、昨年6月30日の社会資本整備審議会道路分科会中国地方小委員会で、全線自動車専用道路で整備する対応方針が妥当と判断された。本年8月10日には、国土交通省中国地方整備局から鳥取県に対して都市計画決定手続きに必要な図書が提出されたことから、今年度中の都市計画決定を目指し、鋭意手続きを進めるとともに、早期の事業着手を国に働きかけていく。</p> <p>また、北条湯原道路などの地域高規格道路は、高規格幹線道路を補完し、路線全体で所要のサービス速度（60km/h以上）を確保し、地域の状況に応じた効率的な道路構造を採用することとされていることから、部分的に一般道としての整備も含めて高速道路ネットワークの早期形成を目指して、鳥取・岡山両県で鋭意事業を進めている。</p> <p>引き続き北条湯原道路の早期完成を目指し、現在、鳥取県において整備を進めている倉吉道路、倉吉関金道路の整備を促進するとともに、北条道路の事業化に併せて北条ジャンクションの新規採択について国に要望していく。</p>

要望項目	左 に 対 す る 対 応 方 針 等
<p>を早期に実現させるようさらに努力していただくことを強く要望します。</p>	
<p>■ 北陸新幹線 敦賀―舞鶴ルートと連携する舞鶴―鳥取の山陰新幹線ルートについての検討を</p> <p>公明党県議団と舞鶴市役所を訪れ、意見交換してきました。</p> <p>北陸新幹線は敦賀までのルートは決定していますが、敦賀以西のルートは未決定です。現在、米原で東海道新幹線と結ぶ米原ルート、小浜を経由して京都につなが小浜・京都ルート、そして、小浜から舞鶴を経由する京都府北部ルートの3案があり、舞鶴市は京都府北部ルートの実現に向けて誘致活動を続けられています。</p> <p>同市は舞鶴から鳥取市へ延伸させ、北陸新幹線と山陰新幹線を結び、日本海国土軸の導線にしたいと熱く訴えられました。</p> <p>山陰新幹線は智頭急行ルートと伯備線ルートにフリーゲイジトレインの導入を目指し、検討が続けられていますが、この舞鶴―鳥取の山陰新幹線ルートも検討の選択肢に入れていただきたいと思います。</p> <p>これまで単県での誘致活動でしたが、舞鶴―鳥取ルートは、京都府・兵庫県の1府2県が連携して誘致活動を展開できることに加え、多極型国土形成に欠かさない日本海国土軸の創造にも繋がり、鳥取県にとっても魅力的なルートと考えます。</p> <p>7/30には、山陰新幹線の早期実現と北陸新幹線京都府北部ルートの決定を求める決起大会が開催され、山陰新幹線を実現する国会議員の会の国会議員をはじめ、関係自治体の議員、首長など多くの参加があり、機運は高まっています。</p> <p>鳥取県としても、舞鶴―鳥取ルートの調査研究費及び誘致イベント等実施費の計上等、実現に向けて積極的に推進していくことを求めます。</p>	<p>山陰新幹線の整備については、山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議が、リニア方式も含めた新幹線の整備実現に向けた調査を実施するほか、6月には京都府北部地域を経由する北陸新幹線ルート延伸を「山陰新幹線を実現する国会議員の会」に要望、7月には山陰新幹線の早期実現と北陸新幹線京都府北部ルートの決定を求める決起大会を鳥取市内で開催するなど、山陰新幹線の早期実現を目指した積極的な活動を展開されている。</p> <p>また、国においては昨年8月に与党の北陸新幹線敦賀・大阪間整備検討委員会が設置され、中間とりまとめにおいて、北陸新幹線敦賀以西のルートは、米原ルート、小浜ルート、舞鶴ルートの3案に絞りこまれた。当該ルートごとに建設費用や経済波及効果等を試算し、年末を目途に与党委員会が最終ルート案を決定されると聞いている。</p> <p>県では、山陰新幹線の整備推進については、山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議や「山陰新幹線を実現する国会議員の会」の活動と同調しながら、まずは、京都や兵庫と足並みの揃った運動を展開していくとともに、山陰の鉄道の高速化について、県民の機運醸成を含め、丁寧かつ慎重に議論を進めることが必要と考えている。なお、全国新幹線鉄道整備法の基本計画線に止まっている山陰新幹線の整備計画線への格上げについて、本年7月に国土交通省に対して要望した。</p>

要望項目	左に対する対応方針等
<p>■ 国所管の空港がある地方自治体と連携して、国に対し、着陸料、保安料、航空援助施設利用料の減免要望を</p> <p>国管理空港は、最大離陸重量に基づいた逓増方式で全国一律の着陸料が設定されています。</p> <p>これに航空ネットワークの維持・拡充の観点等から、路線に応じて各種割引を実施されていますが、その割引率は、関空、広島、高松、松山、北九州、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、神戸、小松 羽田が3/4、釧路、函館、高知、美保、徳島、三沢が3/5などです。</p> <p>国際交流の発展のため、海外航空会社の誘致に努力された自治体は様々な運行支援策を打ち出し、鳥取県も例外ではありません。</p> <p>米子ソウル便の運行会社がアジアナ航空から、同社子会社のLCCであるエアソウルに替わり、エアソウルからはアジアナ航空同様の支援が求められていますが、年間7,000万円の支援は鳥取県の財政規模から言って楽な負担ではありません。</p> <p>東京オリンピックに備え、外国人観光客の呼び込みに取り組む地方空港の離陸料減免を国土交通省が検討しているとの報道もありました。</p> <p>鳥取県と同様の思いを持つ地方公共団体と連携し、国に対し、着陸料、保安料、航空援助施設利用料の減免を強く求めて下さい。</p>	<p>国が目指す2020年の訪日観光客4,000万人達成に向けて、来県する外国人観光客が近年急増している東アジアからの誘客対策を強化する必要があるとともに、交流人口の拡大や地方経済を発展させる真の地方創生を実現するためには、複数都市を結ぶ地方航空路線のネットワークの拡充が不可欠である。</p> <p>そこで県では、昨年7月に、国土交通省に対して着陸料の免除又は軽減率の拡大、保安料、航行援助施設使用料の免除又は軽減措置の新設について要望し、また、本県を含む日本海沿岸の12府県で構成される日本海沿岸地帯振興連盟においても、昨年、空港使用料低減による地方空港の活性化について要望した結果、国においては、今年度から、米子鬼太郎空港を含む国が管理する地方25空港において、国際定期便の新規就航・増便、国際チャーター便について着陸料の最大1/2減免措置を実施している。</p> <p>国では、着陸料について更なる支援制度の拡大が検討されているようであり、引き続き、日本海沿岸地帯振興連盟と協調して、米子香港定期便や米子ソウル便が着陸料等の支援対象となるよう国に働きかけていく。</p>
<p>■ DBSクルーズフェリー航路維持のため京都府及び舞鶴市との連携強化を</p> <p>ウラジオストク―東海一境港を結ぶDBSクルーズフェリー航路は鳥取県の大交流時代の幕を開けるものと期待されています。</p> <p>昨年7月、国内航路が舞鶴港に延伸されましたが、境港からの積み荷が減少するというネガティブな捉え方でなく、日本海国土軸の2大拠点として関西圏からの韓国、ロシアへの大きな導線に育てようというポジティブな考え方</p>	<p>関西広域連合の枠組みを活用して、ロシアセミナーやバイヤーを招いた商談会の実施にあたり京都府や舞鶴港と連携しているところである。</p> <p>また、首都圏や関西圏等で開催する境港利用促進懇談会や物流関係の展示会等への出展では、DBS航路が舞鶴にも延伸寄港し貨物取扱をしていることも周知し、PRに努めている。</p> <p>DBS航路はロシアからの輸入貨物の確保が課題であることから、引き続き、京都府、舞鶴港とも連携して、貨物誘致に取り組んでいきたい。</p>

要望項目	左 に 対 す る 対 応 方 針 等
<p>に立ち、京都府及び舞鶴市と連携して、国内及び韓国、ロシアでの集荷、輸出入の促進に努力していただきたく、必要経費の計上を求めます。</p>	
<p>■ 大山開山1300年祭を契機として、大山一帯をエコ・ツーリズム、スポーツ・ツーリズムの聖地として世界に発信する仕掛け作りを</p> <p>修験道など山岳信仰の長い歴史を持つ大山の文化的価値の高さは議論をするまでもありませんが、エコ・ツーリズム、スポーツ・ツーリズムの聖地として世界に発信する価値があると考えます。</p> <p>環境省が世界的水準のナショナルパークとして、東京オリンピックが開催される2020年までに訪日外国人を惹きつけるための取り組みをする国立公園満喫プロジェクトの対象となる8公園のひとつに大山隠岐国立公園が7月25日選定されました。これは大山の自然環境や植物多様性、景観の素晴らしさが評価されたもので、大山の自然としての価値の高さを示すものです。</p> <p>大山弓ヶ浜のコースはジャパンエコトラックの認定を受け、小原工さん（トライアスロン選手）の推薦で「神々が宿る山に守られた道」として大山のロードが観光庁ランナーズインフォメーション研究所のコースに認定されるなど、登山、マラソン、サイクルのロードとして注目を集め、地元大山町でも運動部の合宿を誘致するなどの取り組みを進めておられます。</p> <p>広域自治体としての県が、国及び大山周辺の市町村と密接な連携を取り、大山開山1300年祭が豊かな文化・歴史に加え、エコ・ツーリズム、スポーツ・ツーリズムの視点からも、大山の魅力を世界に発信するものになるような仕掛けづくりを進めて下さい。</p>	<p>大山の自然・魅力を世界に発信するため、国の「国立公園満喫プロジェクト」選定を契機に、保護と利用の両立を軸足に、関係する地元市町村等の声を踏まえながら、島根県・岡山県とも連携し、外国人観光客の増加に向けた具体策を検討する。</p> <p>まず、このたびの経済対策の一環として国の重点支援が予定されている自然環境整備交付金を活用し、トイレの洋式化や登山道の再整備、案内看板の多言語化などインバウンドを見据えた観光客の受入体制充実に向けた環境整備を進めることとしている。</p> <p>大山開山1300年祭においては、このような環境整備を強みに地元市町村、関係団体による主体的な取組として地蔵信仰やたたら等の文化・歴史に加えて、大山の澄んだ空気と水がもたらす美しい緑と夜空を媒介に、星空ツアーをはじめ、古道トレイルや新緑ウォーク、ダウンヒルサイクリング等といった「大山まるごとエコツアー」の展開など、エコ・ツーリズム、スポーツ・ツーリズムの聖地として大山の魅力を発信できるよう『伯耆国「大山開山1300年祭」準備委員会』において検討が進んでおり、県としても弓ヶ浜サイクリングコースの整備等必要な環境づくり支援を行っている。</p> <p>【9月補正】国立公園満喫プロジェクト等推進事業 260,880千円  【9月補正】伯耆国「大山開山1300年祭」加速化事業 13,280千円  【9月補正】伯耆国「大山開山1300年祭」推進事業（環境整備） 86,500千円</p>

要望項目	左 対 する 対 応 方 針 等
<p>■ フィギュアミュージアム「(仮称)円形劇場」を核にしたポップカルチャーによる観光振興を進め「まんが王国」のさらなる充実を</p> <p>倉吉市の6月議会で旧明倫小学校円形校舎の株式会社円形劇場への無償譲渡が決まり、フィギュアミュージアム整備がようやくスタートラインに立ちました。</p> <p>このフィギュアミュージアムには、行ってみたいくなるような魅力ある展示やプロモーションの具体的プランの提示、そしてそれらを実現するための資金調達などまだまだ乗り越えないといけないハードルがあり、その実現にはまだ数年かかりますが、ポップカルチャーによる観光・文化・産業振興を進展させる起爆剤となり得るものです。</p> <p>この件については何度も要望項目に挙げてきましたが、倉吉市も本腰を入れてきており、県としても具体的に向き合う時が来たと考えています。</p> <p>ぜひとも、支援について検討し、具体化していただきますことを再度強くお願いいたします。</p>	<p>円形劇場フィギュアミュージアム構想は、地方創生のひとつのモデルであり、地元倉吉市の応援が重要である。県としても倉吉市の考えをよく聞きながら可能な支援を検討したい。</p>
<p>■ 県立美術館の県民への説明には県財政への影響についてもきちんと説明を</p> <p>倉吉市で先日行われた美術館キャラバンに参加してきましたが、美術館の建設が与える県財政への影響についての説明があまりなされなかったように感じました。</p> <p>また、今後の公共施設・インフラを維持・運営するための重要な手法であるPPP・PFIについての説明も充分ではなかったように思います。</p> <p>国も自治体も人口減少による財政規模が縮小していくことへの対策として、公共施設・インフラの見直し、PPP・PFI等の運営の在り方を見直しに取り組もうとしている中、新たな施設の建設には慎重にならざるを得ず、インシヤルコストだけでなく、ランニングコストについても県財政に与える影響を充分考慮する必要があります。</p> <p>美術館の必要性とあるべき姿の説明を否定するものでは</p>	<p>美術館整備基本構想については、これまでの議論により構想内容は固まりつつあるが、県民の理解は未だ十分でないと考えており、現在、それについて県民に説明する「美術館キャラバン」を県下各地で実施している。</p> <p>そこで説明する際には、県立美術館の必要性やあるべき姿に加え、施設の建築費(インシヤルコスト)や運営費(ランニングコスト)の見通しやPFIの検討状況等についても説明するようしており、今後は、これらの事項や県財政についてもわかりやすく説明するよう工夫し、県民の理解を得るよう努める。</p>

要望項目	左 対 する 対 応 方 針 等
<p>ありませんが、併せて財政面での影響をきちんと説明しないと県民の意見を間違った方向に誘導してしまうのではないかと危惧します。</p> <p>美術館建設のメリット・デメリットを客観的に県民に提示し、そのうえで知恵やアイデアを広く募ることで、他にはない鳥取県らしい美術館を実現していただくことを希望します。</p>	
<p>■ 空き家の活用について支援するためのガイドラインの作成を</p> <p>空き家の有効活用は地域の活性化にとって重要な課題です。</p> <p>しかしながら、元の建物の用途と違う使い方をしようとする場合、都市計画の用途地域による制限や、業種等によって届け出や許可、必要な設備の設置等の制約があることがあまり知られていません。</p> <p>これらの確認や手続きは担当部署や役所が異なり、全体にわたって知識のある人がいないと素人では気が付かず、いざ開業という段になってストップがかかるという事態にもなりかねません。</p> <p>空き家の活用にあたって、新たな用途による制限や制約、手続き等を整理して、ガイドライン等にまとめるとともに、それらをクリアして実現する方法についてアドバイスする相談窓口を設けていただくことを希望します。</p>	<p>空き家の有効活用を促進するため、既存予算を活用し建築基準法・消防法・旅館業法・食品衛生法等用途に応じた法律ごとの要件・留意事項等をまとめたガイドラインを作成することとしている。</p> <p>また、県関係各課及び4市等と調整し、近日中に総合的な相談窓口を設置することとしている。</p>
<p>■ 鳥取県の農業の生き残りのために先端技術・先進事例の研究を</p> <p>先日、千葉県柏市にある千葉大学拠点植物工場と大規模植物工場の誘致に成功している山梨県北杜市を視察して、アグリビジネスの現状と先端技術の一部を垣間見て、鳥取県の農業の生き残りについて暗澹たる気持ちで帰ってきたところです。</p> <p>鳥取県は農業が主要産業ですが、食物の供給ビジネスという視点で農業をとらえたときに、アグリビジネスの状況</p>	<p>農業生産にかかる新技術動向や先進事例の研究・情報共有に関しては、既に大学や生産団体、試験研究機関（県試験場、農研機構）等とともに「とっとりイノベーション連絡協議会」を設置(H27.4)した上で取組を進めており、今後とも県内農業の収益力向上につながる新技術導入を推進する。</p>

要望項目	左 に 対 す る 対 応 方 針 等
<p>を知っておかないと、農業政策の方向性を見誤ることになりかねません。</p> <p>これからの鳥取県の農業のあり方について考えるための基礎情報として、国内外の最新技術の動向や先進事例の研究を行うことと、そうして得た情報を農業関係者と共有するような体制やシステムを構築していただくことを要望します。</p>	
<p>■ 鳥取県の農業を担う儲ける農業経営者を育成するモデルづくりを</p> <p>以前一般質問でも取りあげた長野県御代田町の農業生産法人有限会社トッピーバーの代表の嶋崎秀樹氏と先日お会いし、お話をさせていただきました。</p> <p>トッピーバーの嶋崎氏は、日本の農業が生き残るためには儲かる農業を確立することが必要だという信念の下、研修生を受け入れ、自立できる農業経営者を育てることに尽力されています。また、儲かる農業を広めるために、著作を發表し、国や自治体等が主催する講演や会議で全国各地を飛び回り、自らのノウハウを惜しげなく伝えておられます。</p> <p>その嶋崎氏の下で育った研修生に鳥取県出身者が3名もいるという縁もあって、トッピーバーが全面的に協力するので、自立できる農業経営者を育てるモデルプログラムを鳥取県で作りませんかという提案をいただきました。</p> <p>その概要は、県内で研修生を募集して、トッピーバーで研修させ（研修生の給与はトッピーバー負担）、卒業したら県内で農業を行うという流れで、県内に鳥取県版のトッピーバーをたくさん生み出そうというものです。</p> <p>県外の民間事業者との連携ということでの課題もあるかもしれませんが、県の財政的負担もリスクも多くありません。また、次代の農業を担う経営者の育成という点において農水省も嶋崎氏のやり方を注目しており、そのトッピーバーと自治体が連携する農業経営者育成プログラムとして国のモデルとなる可能性もあります。</p>	<p>新規就農者の育成に意欲を持っている有限会社トッピーバーのような法人で研修をすることは有意義なことではあるが、実際に県内で就農する場合は、本県と気象条件も大きく異なる長野県のトッピーバーの研修終了後に改めて県内の先進農家で研修をされた方があるなど地域にあった作物の栽培方法を研修することが必要である。</p> <p>県としては、現在のアグリスタート研修、アグリチャレンジ研修や農の雇用等による栽培技術習得のための県内での研修制度を活用していただき新規就農者の確保を図っていきたい。</p>

要望項目	左 に 対 す る 対 応 方 針 等
<p>ぜひとも、県の事業としての検討を行っていただくようお願いいたします。</p>	
<p>■ 養父市の農業改革特区構想を研究し、必要なものは鳥取県でも実施を</p> <p>養父市は国家戦略特区の採択を受け、①農業委員会と市の事務分担を見直して事務処理時間を短縮するなど農地を取得しやすい環境を整備する、②農業生産法人の要件緩和し、法人による営農を促進する、③農業への信用保証制度の適用により、農業分野の第2創業と6次化を促進する、④旅館業法施行規則の要件緩和で、古民家を旅館に再生する農家民宿の促進、⑤高齢者雇用安定法の特例を設け、シルバー人材センターの労働時間を拡大する ― などを内容とする農業改革をされています。</p> <p>農業に対する規制は岩盤規制の典型例とも言われており、養父市のように特区でもない鳥取県が同様の改革を進めることは難しいことと理解していますが、民宿の規制緩和など鳥取県の方が先行して実施しているものもあり、中には県政の施策に採用できるものもあるのではないのでしょうか。</p> <p>県職員を養父市に派遣し、調査研究する経費を計上すると共に、連携して政策展開できないか協議も始めて下さい。</p>	<p>養父市「中山間農業改革特区」については、その取組内容と成果について研究してみたい。</p>
<p>■ 呼吸管理のできる回復期の医療機関の整備を</p> <p>鳥取県地域医療構想案がまとまり、現在、パブリックコメントが募集されています。</p> <p>医療機関が、その有する病床（一般病床及び療養病床）において担っている医療機能の現状と今後の方向を選択し、病棟単位で都道府県に毎年度報告する病床機能報告制度の結果が示されています。</p> <p>高度急性期の病床数は平成26年7月には1,754床あったものが、平成27年には1,176床に激減、平成33年でも1,260床と予想されています。減少分は回復期の病院が増えていますが、呼吸器管理ができる病院が</p>	<p>病床の機能分化・連携を進める中で、回復期の呼吸器管理も課題であり、各圏域で地域に必要な医療提供体制を協議する場である「地域医療構想調整会議」においても呼吸器管理の今後の医療提供体制について協議しているところである。なお、所要の施設設備整備に対しては、地域医療介護総合確保基金を財源とした支援制度を既に設けており、この制度を活用していきたい。</p> <p>【9月補正】 鳥取県地域医療介護総合確保基金事業（病床の機能分化・連携推進基盤整備事業） 115,762千円</p>



要望項目	左 に 対 す る 対 応 方 針 等
<p>少なく転院ができないため、急性期が過ぎても、高度医療ができる病院に入院を続けている現状があります。</p> <p>回復期の病院の増床は呼吸器管理できる病院を中心に進めるとともに、支援制度の検討も始めて下さい。</p>	